

校内研修計画

勝沼小学校

1 学校課題

本校では、平成18年度から昨年度まで国語科を中心とした研究に取り組んできた。平成22年度から平成24年度までは「自分の思いをもち、豊かに表現する児童の育成」という研究主題のもと、書くことの力を伸ばす授業作りについて研究してきた。その中で、国語力を「獲得する知識や技能などが複雑に絡まり合いながら身に付いていく総合的な言語能力」ととらえ、授業実践を通じた研究が進められてきた。その成果として書くことが好きになり、自分から進んで書こうとする児童が増えてきた。しかしそれは国語科における書くことの成果にとどまっている。他教科に目をむけると、本校の全国学力・学習状況調査の算数科の結果では「数学的な表現力（『〇〇をもとにして考えると〇〇のようになります』『〇〇だから〇〇と考えられます』といった自分の考えの論理的なつながりを表現できる言葉や『〇〇の考えと少し似ているのですが』のような他の考えと自分の考えの関連を示すような言葉）を用いて、筋道を立てて自分の考えを説明するところが弱い。」という課題が浮き彫りになった。

このような実態から本校では算数科における「考える力・表現する力」が課題と考えた。

2 研究主題

「考える力・表現する力を育てる算数科授業」

～算数的活動を通して～

3 主題設定の理由

今日の社会は、科学技術の進歩や経済発展の恩恵を受け、豊かになるとともに、情報化、国際化、価値観の多様化、格差の拡大など、変化の激しい社会へと急速に進んでいる。そういう社会に対して、子どもたちが生涯にわたって自分らしさを発揮して、心豊かに主体的によりよく生きて行ける資質や能力を育成していくことは最も重要な課題と言える。また、国際学力調査（PISA）から学習指導において基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用しながら、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力をはぐくむ授業改善を図ることが求められている。

本校においても「『かしこい子』を育てる」の教育目標のもとに「考えて学習する子ども」「強くたくましい子ども」「温もりのある仲間作りのできる子ども」「真心を持って行動できる子ども」という4つの具体的児童像を掲げて、知・徳・体の調和のとれた人間形成を目指している。しかし本校の児童の様子から、学習の習熟度の二極化傾向や思考力・判断力・表現力を問う問題への苦手意識、学習意欲・学習習慣の不十分さなどの課題が見えている。そのことは、昨年度本校の算数科の全国学力・学習状況調査の結果にも表れている。計算などの基礎的・基本的な知識の定着率は高かったが、思考力・表現力が問われ、理由を記述する問題の正答率は、低かった。だからこそ、「考えて学習する子ども」を意識して育てていく必要がある。そこで、確かな学力の育成において、基礎的・基本的な知識・技能の定着とともに思考力・表現力の育成を図っていきたいと考えた。

上記のことを踏まえて、本年度は昨年度までの国語の成果を生かしながら、算数科の授業改善に取り組むこととした。学習指導要領では、算数的活動を充実させ、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけ、数学的思考力・表現力を育て、学ぶ意欲を高めることが基本方針になっている。このことは本校の解決すべき課題とも一致している。

子どもたちが自分の考えを筋道を立てて説明したり、互いに考えを伝え合って話し合ったりすることができるような算数的活動により、課題に意欲的に取り組み、考える力・表現する力が育つだろうと考え研究主題を設定した。

4 研究の具体的内容と方法

- ①児童の実態把握をする。
- ②算数科における考える力・表現する力を育てる授業づくりをし、授業研究で検証する。
- ③一人一実践を公開し、教師としての力量を高める。
- ④「Q-U」調査の実施と分析・活用の充実。（甲州市確かな学力育成プロジェクト）
- ⑤家庭学習について保護者・地域住民との連携。（甲州市確かな学力育成プロジェクト）

年間校内研修計画

輿石晴美

研究テーマ	教科領域等	担当者	学年	授業の時期	T・C要請
①本年度の研究について	算数科	研究主任			
②本年度の研究について		研究主任			
③研究仮説,研究組織について		研究主任			
④児童の実態把握について		研究主任			
⑤電子黒板の使用方法		研究主任			
⑥ブロックの研究テーマ,研究計画について		ブロック長			
⑦ブロック研究の確認		ブロック長			
⑧ブロック研究		ブロック長			
⑨教育課程環流報告			研究主任		
⑩ブロック研究	算数科	ブロック長			
⑪ブロック研究		ブロック長			
⑫ブロック研究		ブロック長			
⑬研究授業(1)の提案と研究授業の準備		授業者			
⑭研究授業(1)		授業者		10月16日	要請
⑮ブロック研究		ブロック長			
⑯研究授業(2)の提案と研究授業の準備		授業者			
⑰研究授業(2)		授業者		11月6日	要請
⑱ブロック研究		ブロック長			
⑲ブロック研究の成果と課題をまとめる		ブロック長			
⑳今年度の研究のまとめについて		研究主任			
㉑ブロック研究の成果と課題について	研究主任				
㉒今年度の成果と課題と来年度の方向性について	研究主任				
㉓研究紀要の製本作業		研究主任			